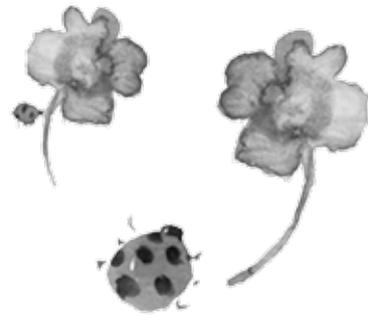


連載

# 一人権だより

vol.07



【7月は「同和問題啓発強調月間」】

**桂** 川町では、町民が人権・同和問題の解決を自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため、7月を「桂川町人権・同和問題啓発強調月間」として、街頭啓発活動をはじめ市民講座などを展開しています。みなさんと一緒に、偏見や差別のない明るいまちをめざしましょう。

【人権出前講座〈報告〉】

今年度、第一回目となる人権出前講座が5月20日に総合福祉センター（ひまわりの里）で開催されました。今回の人権出前講座は、桂川町で活動されている団体「男女共同参画推進ネットワーク ぼろんて21桂川」の総会の中で行われたもので、参加者は約30名。

演題は「在日世代の人権と多文化共生」で、講師は福岡県人権研究所の柳井美枝さん。

柳井先生が実体験を中心に、明るく

【問合せ先】 千8200-06006

嘉穂郡桂川町大字土居360番地 桂川町人権センター内  
隣保・人権同和教育係（☎65-1187）

わかりやすく語る講義に、参加者からも活発な意見などが出され、会場には有意義な時間がながれていました。（参加者の感想）

○講師自身の成長過程の中で、疑問に思ったことを体験を通して、具体的に話されたことが良かった。日本における在日世代の外国人登録・国籍による就職差別、参政権などが理解できた。

○在日の識字学校「青春学校」が上映され、オモニやハルモニが学ぶ姿に心をうたれました。



## 平成23年度 同和問題啓発強調月間講演会

テーマ「みんなのエネルギーを感じて」

国際状況を見ると、民衆の力が国家を動かし、社会全体を動かしているといった状況にあります。また、東日本大震災後の対応についても、たくさんの方々の力が必要とされ、集まった力が人々に勇気を与えています。

しかし、歴史を見ると、民衆の力が様々な形で社会の中に作用してきたことが分かります。私たちは、このような民衆の力を認識し、民衆の歴史を知ること、未来に向けた人権確立の方向性を見出さなければなりません。

そこで、講演会において、地元福岡の人権確立に向けた取組や弾圧と抵抗の歴史を石瀧豊美さんから講演していただき、福岡における歴史認識を高めていきたい。また、ハンディキャップを持つ7人の音楽バンドによる演奏を行い、障がいに対する理解を深めたり、映画「信さん」を上映し、産炭地福岡について関心を高めたりして、テーマである「みんなのエネルギーを感じて」もらい、同和問題の啓発に結びつけていきます。

日時 7月18日（月・祝） 11時30分～12時30分受付

場所 クローバープラザ大ホール（春日市原町三二一七）

内容 第1部 演奏ピュアハート（福岡）

第2部 講演 石瀧豊美（イシタキ人権研究所長）

「民衆の歴史を語る〜福岡の歴史を歩こう〜」

第3部 映画 「信さん 炭坑町セレナーデ」

【問合せ先】（公財）福岡県人権啓発情報センター

☎092-548-1271